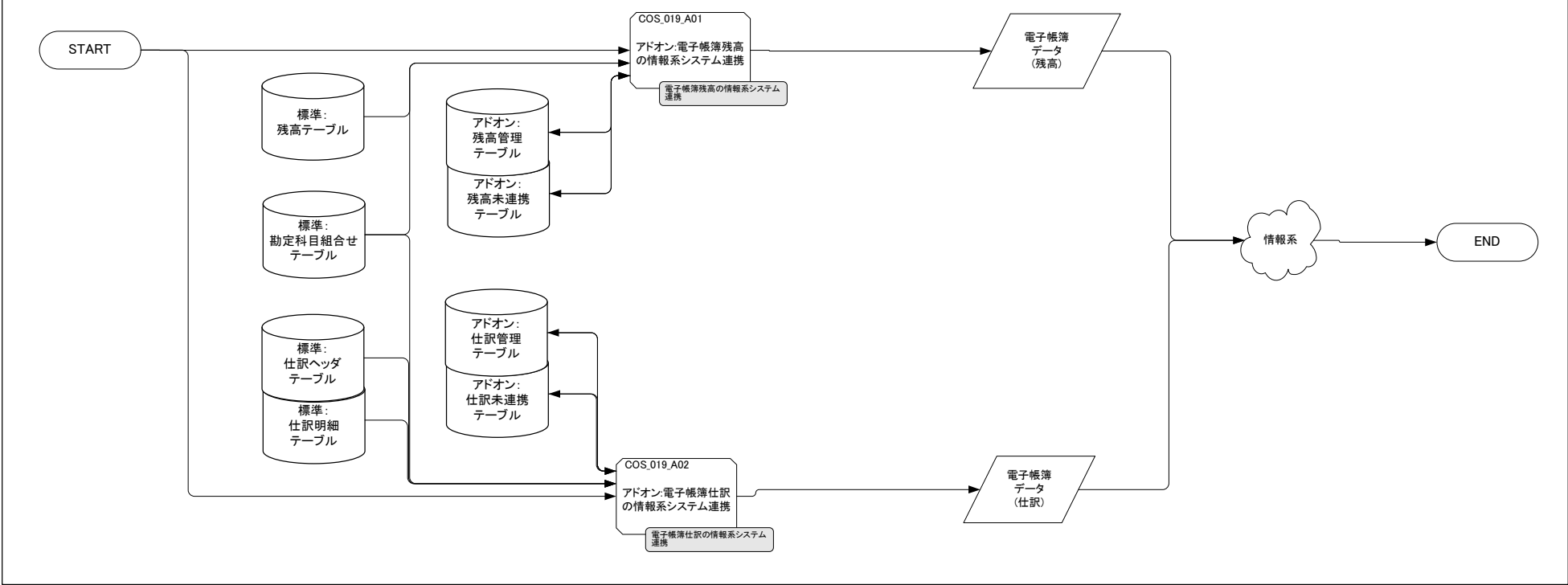


処理概要
電子帳簿保存法対応のため、各情報を情報系システムに対して連携します。

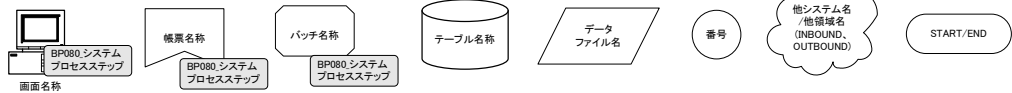
システム利用者
システム管理者

処理タイミング、その他
日次夜間バッチ

- 入力・出力・連携 記入時の注意事項**
- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
 - ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
 - ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
 - ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
 - ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
 - ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
 - ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

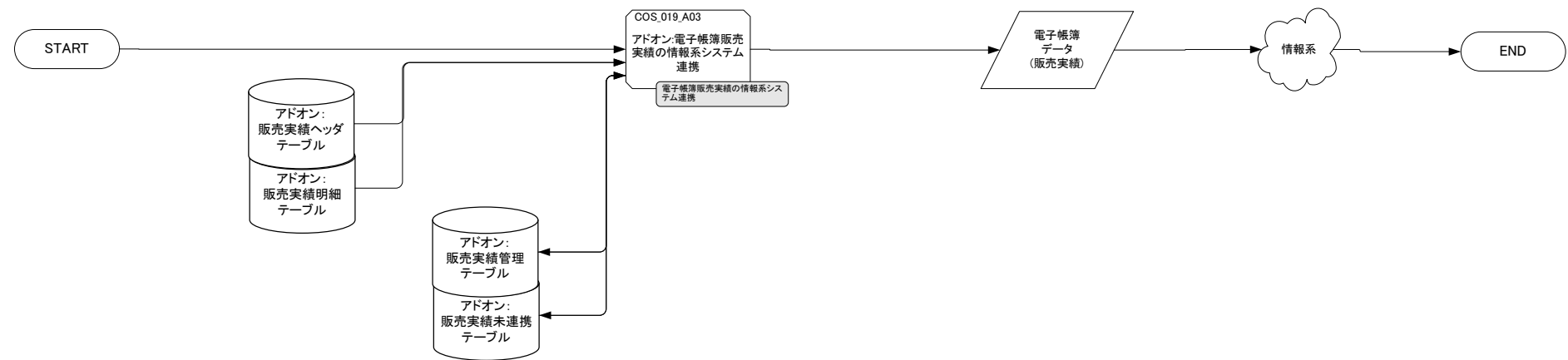


処理概要
電子帳簿保存法対応のため、各情報を情報系システムに対して連携します。

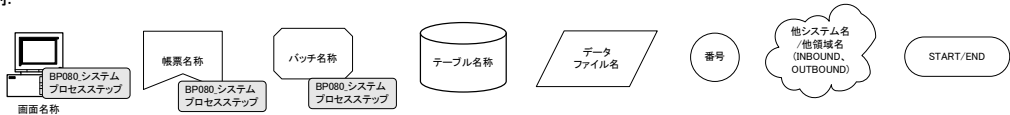
システム利用者
システム管理者

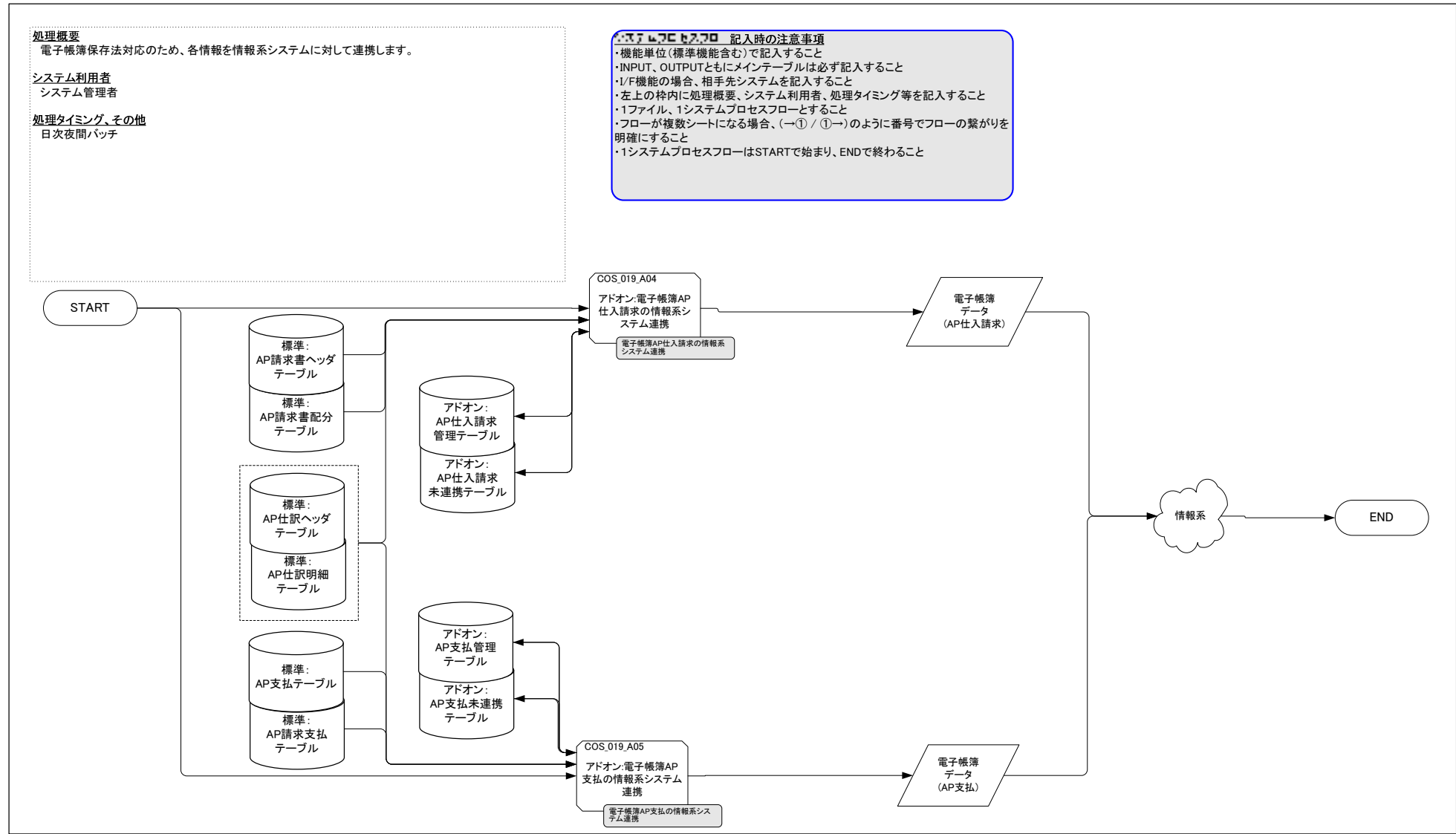
処理タイミング、その他
日次夜間バッチ

- 記入時の注意事項**
- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
 - ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
 - ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
 - ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
 - ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
 - ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
 - ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

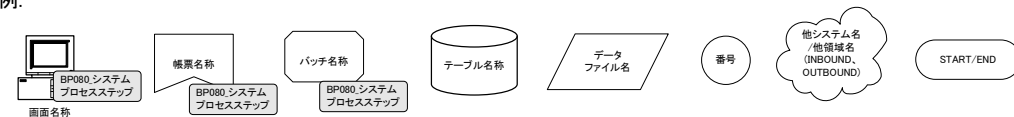


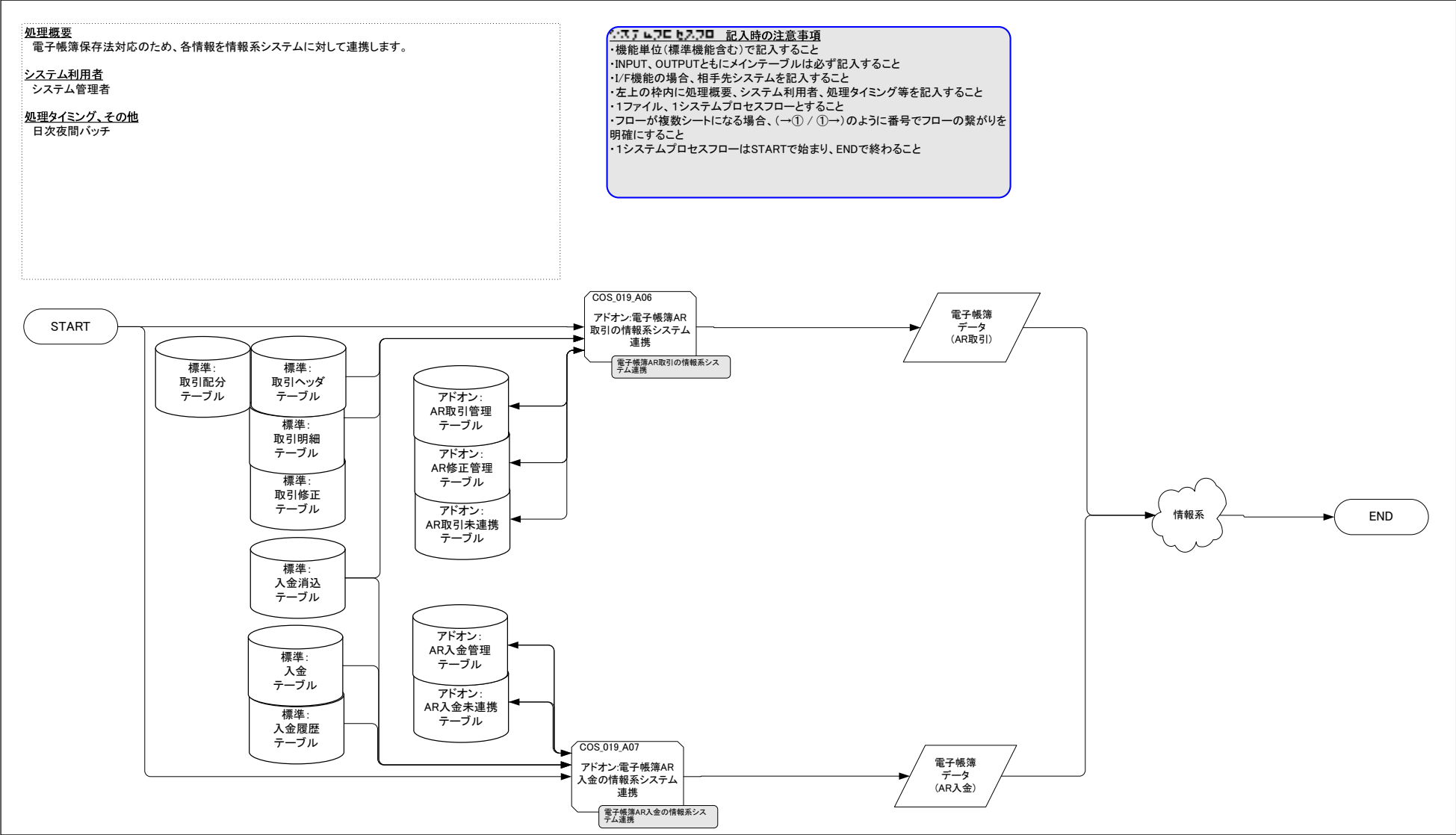
凡例:



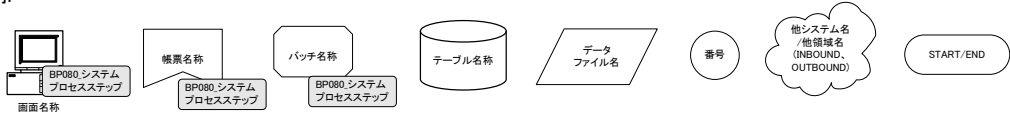


凡例:





凡例:



処理概要

電子帳簿保存法対応のため、各情報を情報系システムに対して連携します。

システム利用者

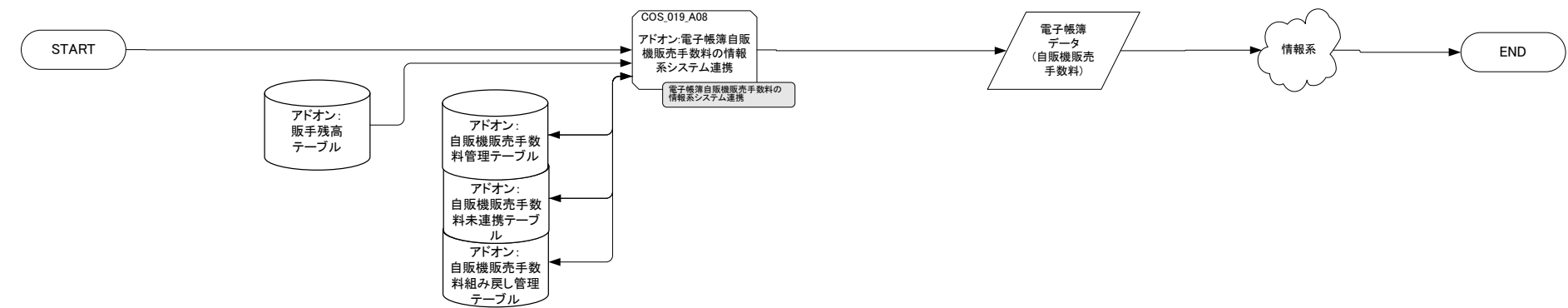
システム管理者

処理タイミング、その他

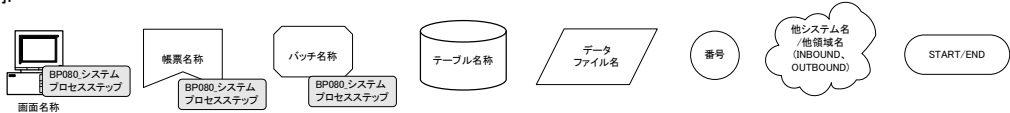
日次夜間バッチ

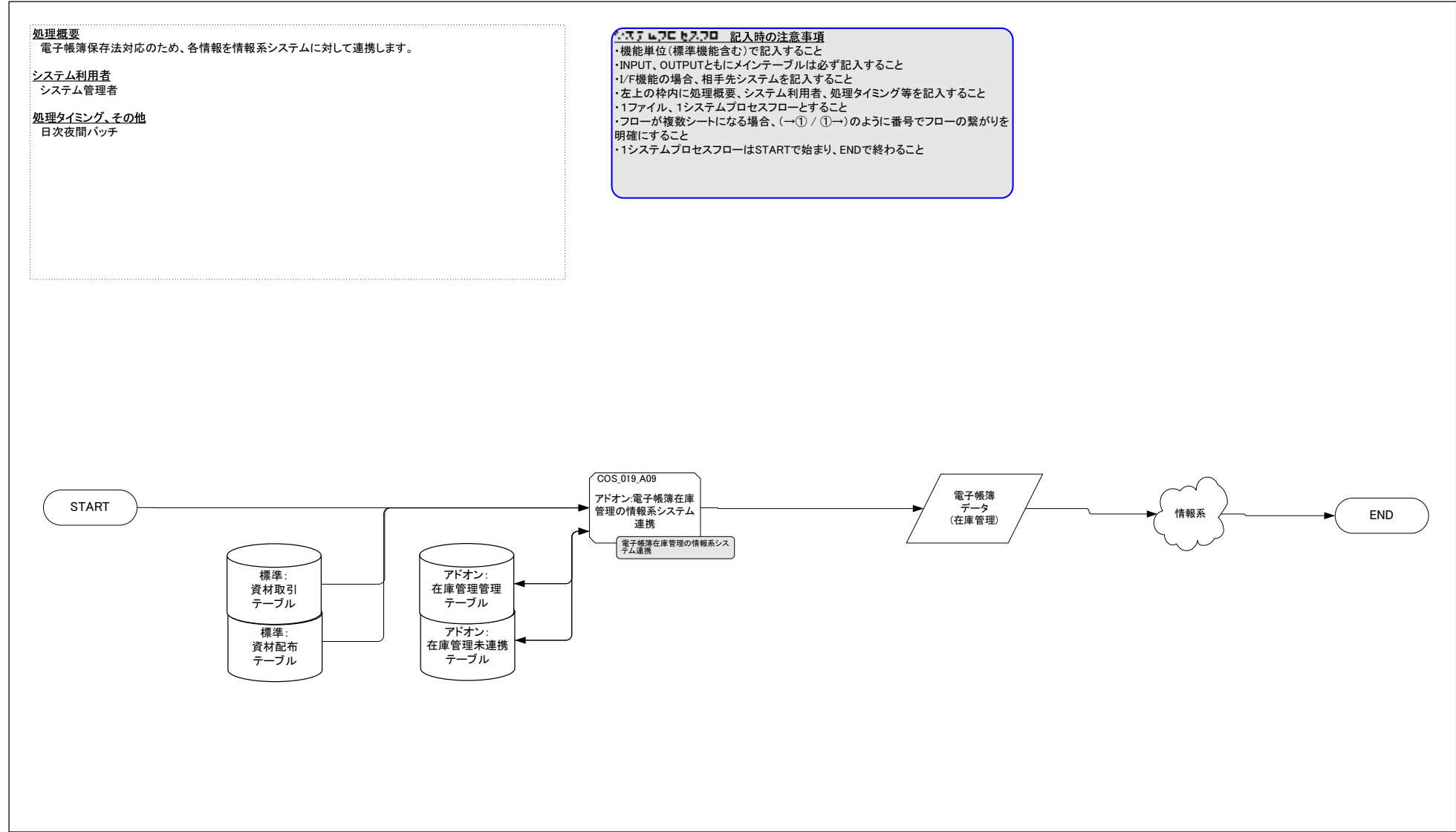
記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

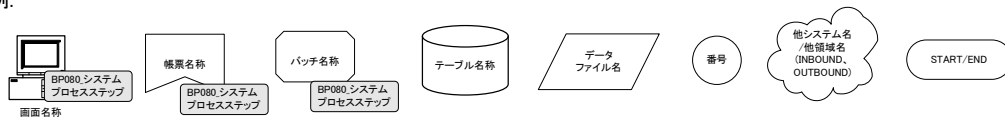


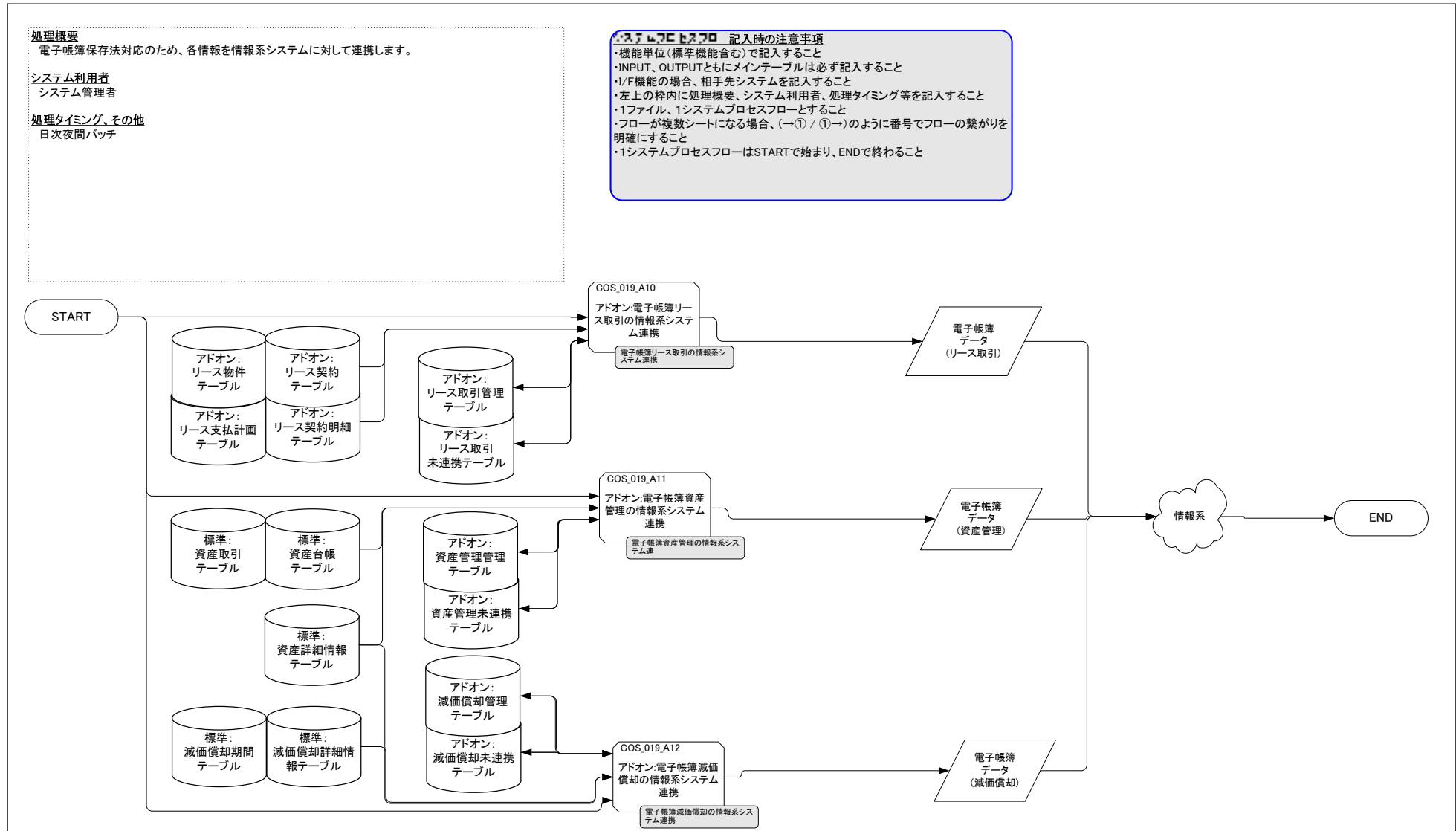
凡例:



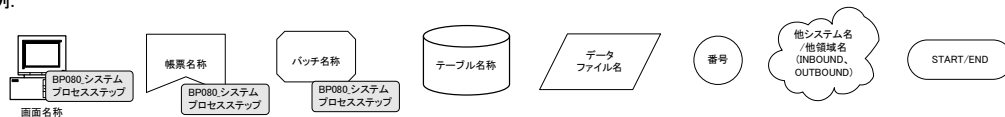


凡例:





凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 生産システムの取引データより、転売、見本、その他払出など受払その他に該当する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	---	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

生産システムの取引データより、転売、見本、その他払出など受払その他に該当する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。

システム利用者

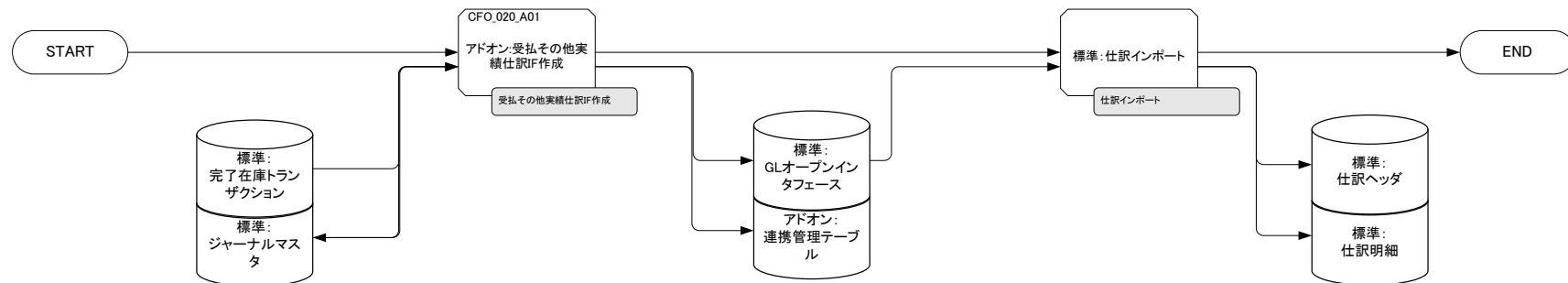
相良経理課

処理タイミング、その他

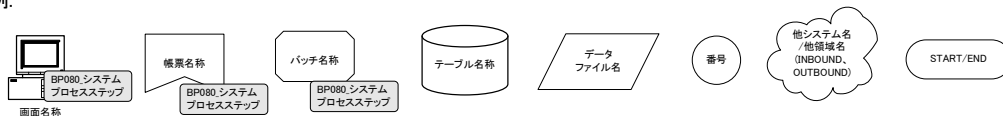
手動
在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 生産システムの取引データより、生産取引に関する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

生産システムの取引データより、生産取引に関する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。

システム利用者

相良経理課

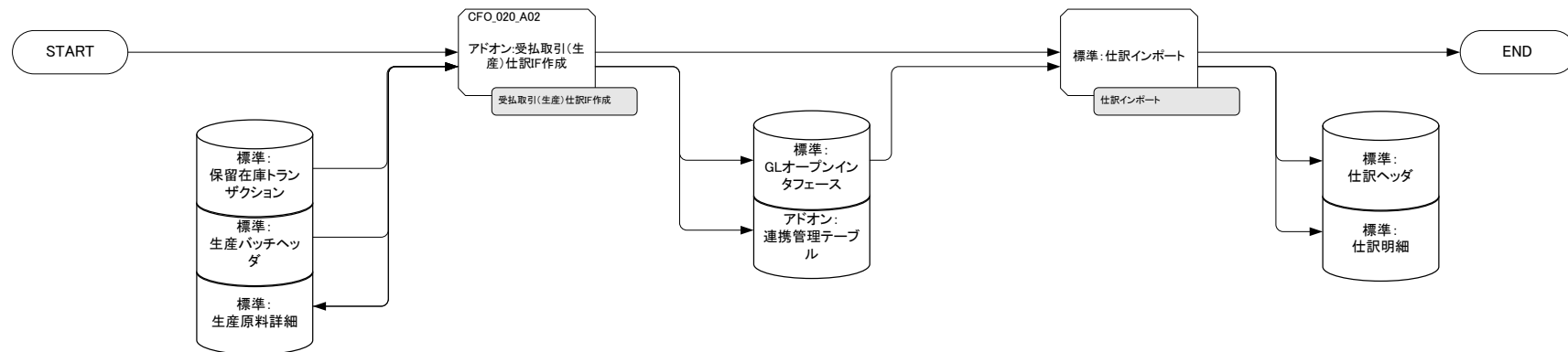
処理タイミング、その他

手動

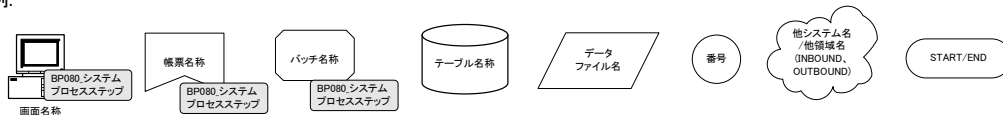
在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



処理概要

生産システムの取引データより、転売、見本、その他払出など受払その他に該当する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。

システム利用者

相良経理課

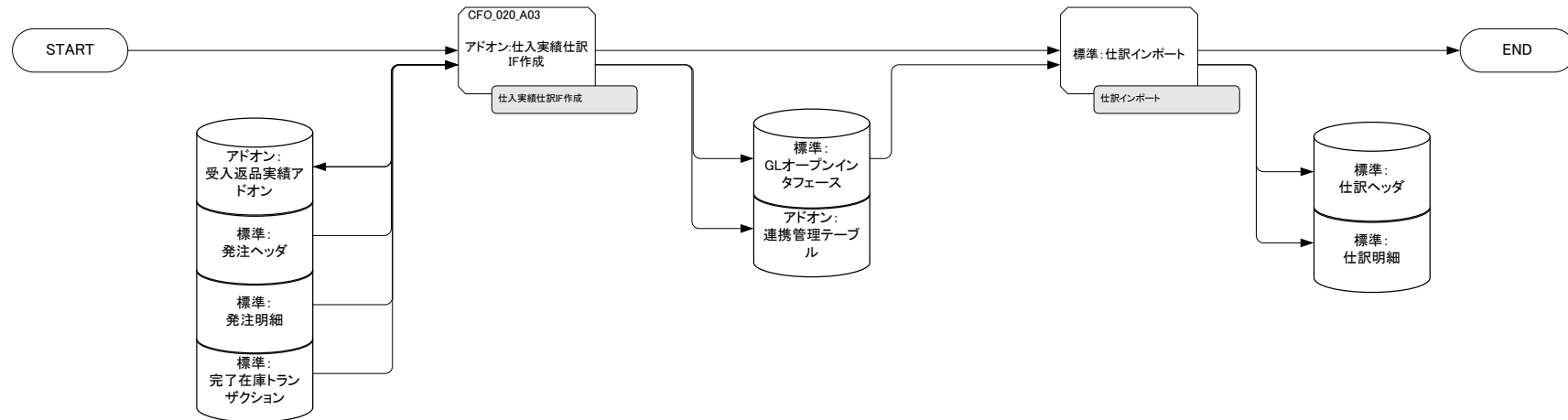
処理タイミング、その他

手動

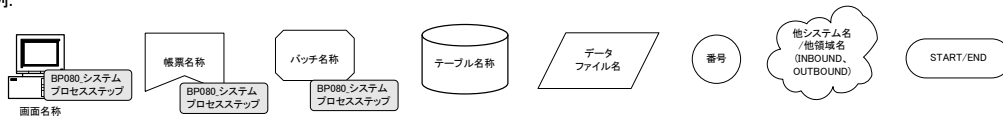
在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 生産システムの取引データより、有償支給の出荷実績に関する未収金仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

生産システムの取引データより、有償支給の出荷実績に関する未収金仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。

システム利用者

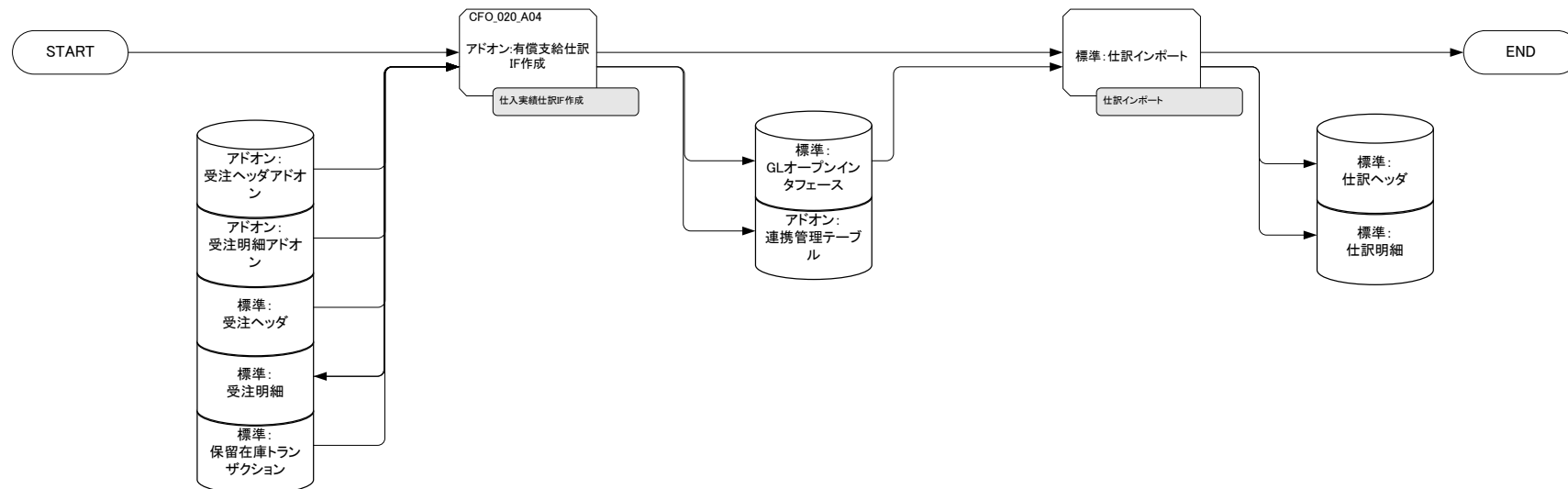
相良経理課

処理タイミング、その他

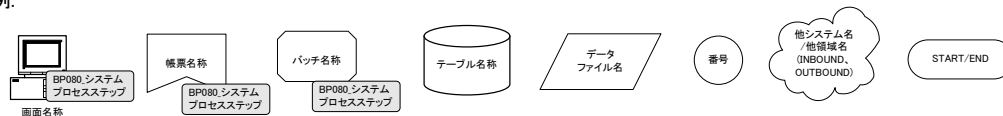
手動
在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 生産システムの取引データより、工場受払(出荷)に関する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

生産システムの取引データより、工場受払(出荷)に関する仕訳用データを作成し、EBS/GLへ連携する。

システム利用者

相良経理課

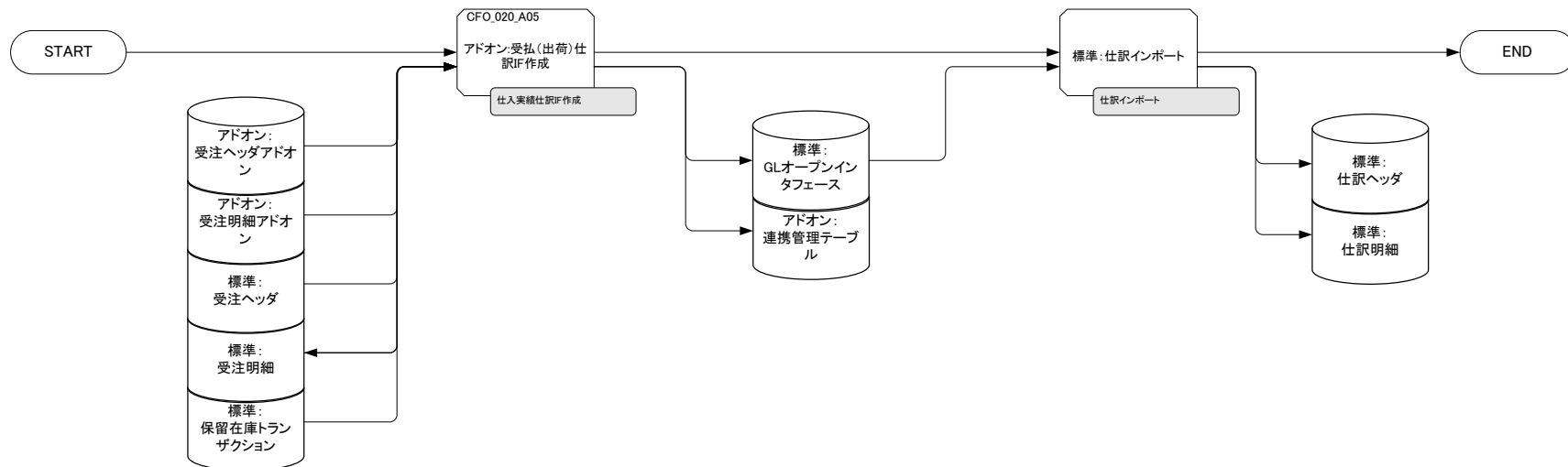
処理タイミング、その他

手動

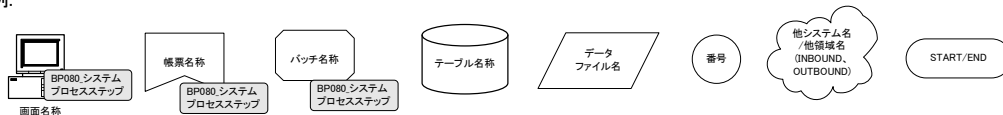
在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 電子帳簿保存法対応のため、転売、見本、その他払出など受払その他に該当する受払区分の取引IFファイル(情報系向け)を作成する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

電子帳簿保存法対応のため、転売、見本、その他払出など受払その他に該当する受払区分の取引IFファイル(情報系向け)を作成する。

システム利用者

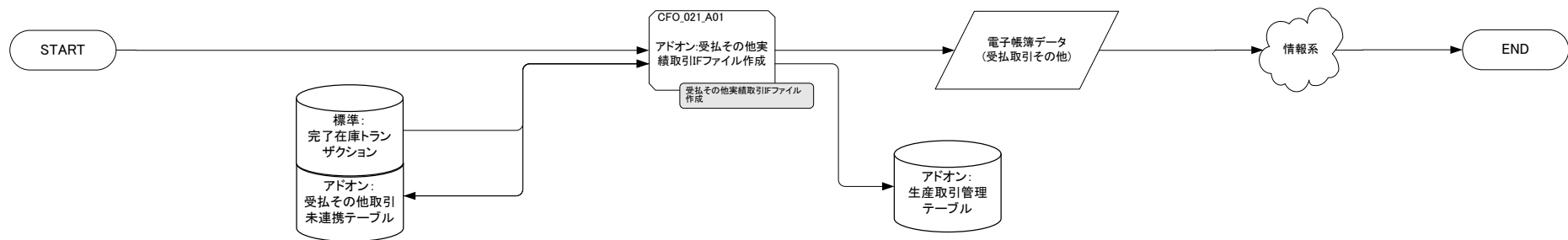
システム管理者

処理タイミング、その他

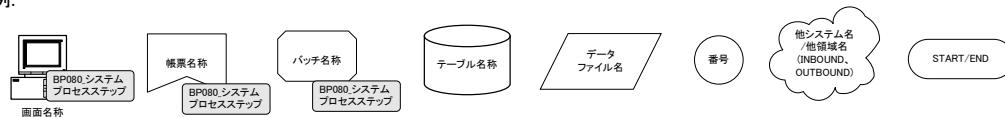
日次夜間バッチ

記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 電子帳簿保存法対応のため、生産取引に関する取引IFファイル(情報系向け)を作成する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

電子帳簿保存法対応のため、生産取引に関する取引IFファイル(情報系向け)を作成する。

システム利用者

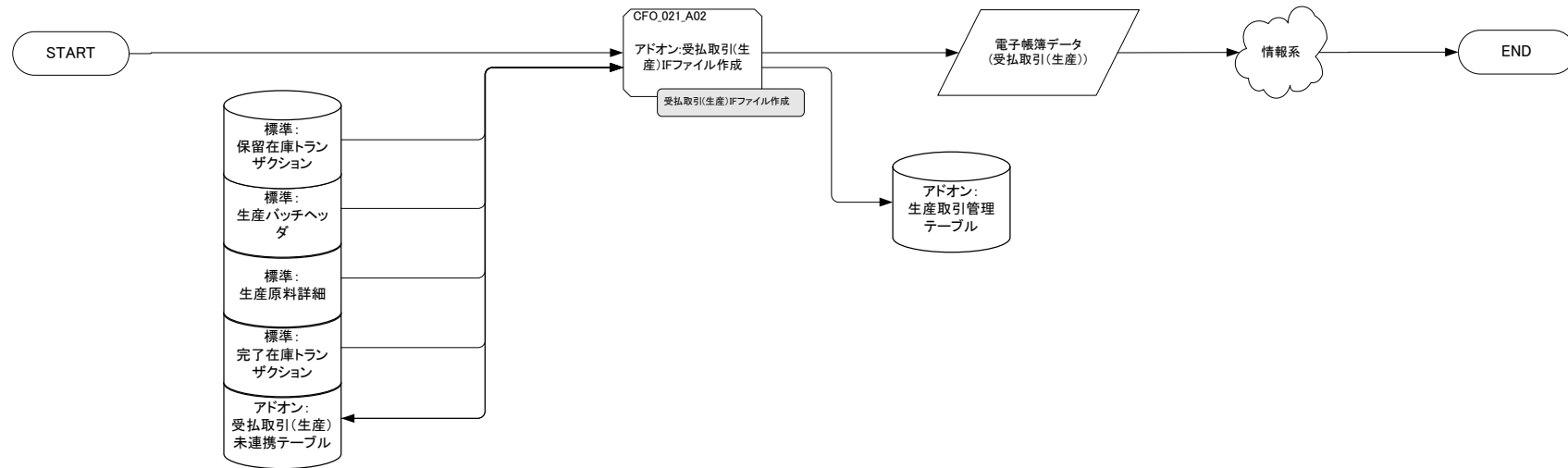
システム管理者

処理タイミング、その他

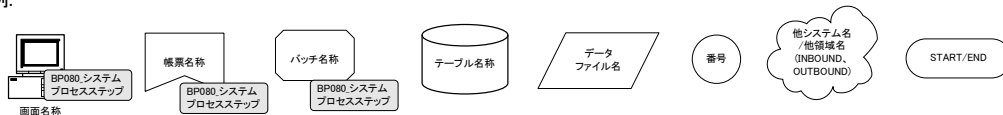
日次夜間バッチ

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 電子帳簿保存法対応のため、工場仕入に関わる取引IFファイル(情報系向け)を作成する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

電子帳簿保存法対応のため、工場仕入に関わる取引IFファイル(情報系向け)を作成する。

システム利用者

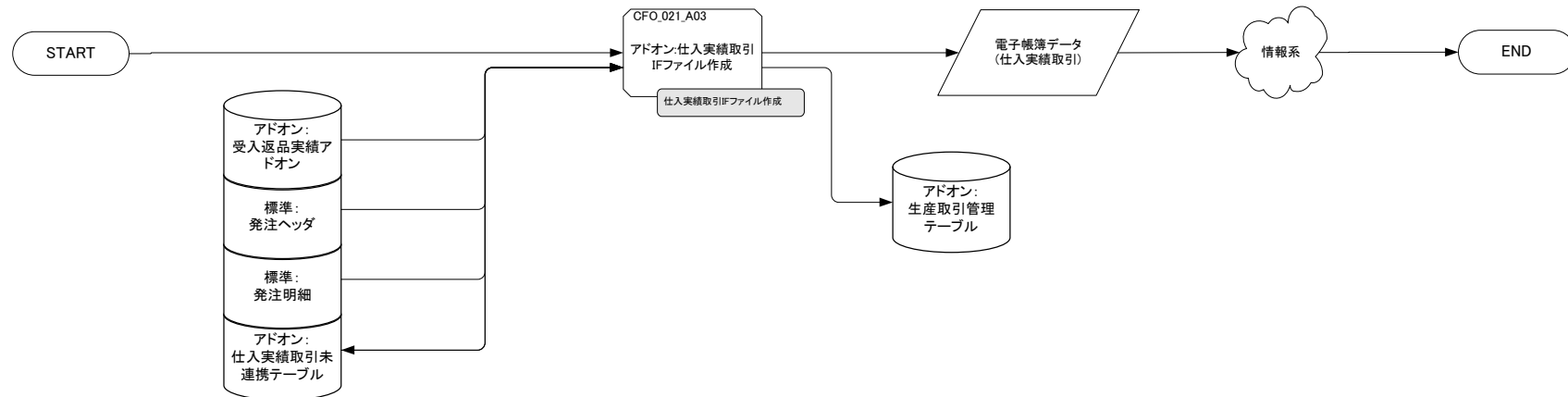
システム管理者

処理タイミング、その他

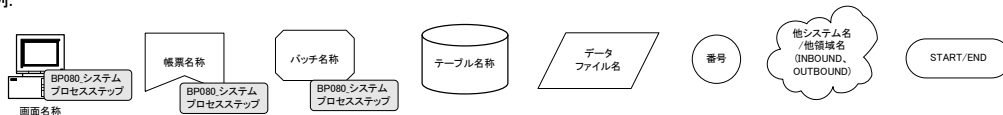
日次夜間バッチ

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 電子帳簿保存法対応のため、有償支給および消費税に関する取引IFファイル(情報系向け)を作成する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

電子帳簿保存法対応のため、有償支給および消費税に関する取引IFファイル(情報系向け)を作成する。

システム利用者

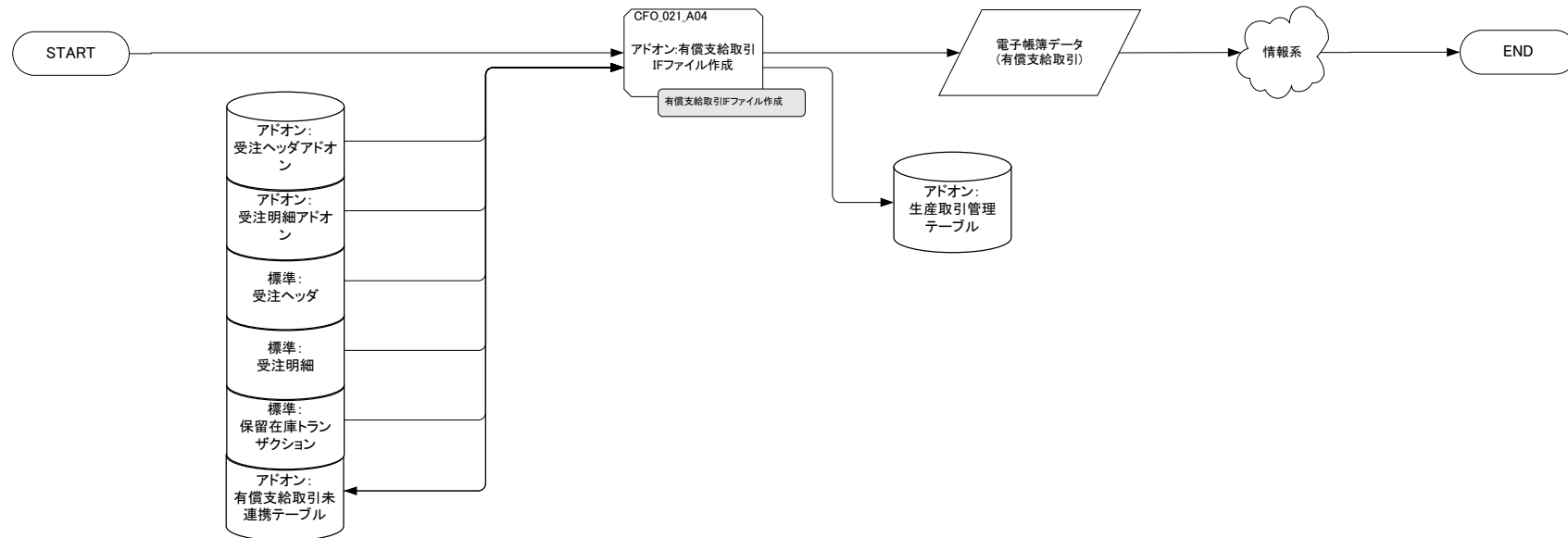
システム管理者

処理タイミング、その他

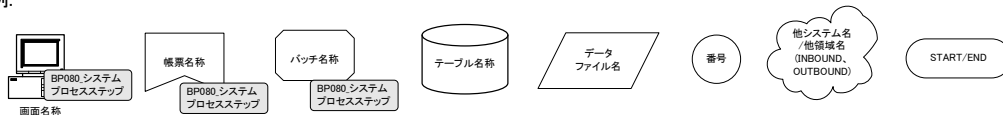
日次夜間バッチ

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 電子帳簿保存法対応のため、工場受払(出荷)に関する取引IFファイル(情報系向け)を作成する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

電子帳簿保存法対応のため、工場受払(出荷)に関する取引IFファイル(情報系向け)を作成する。

システム利用者

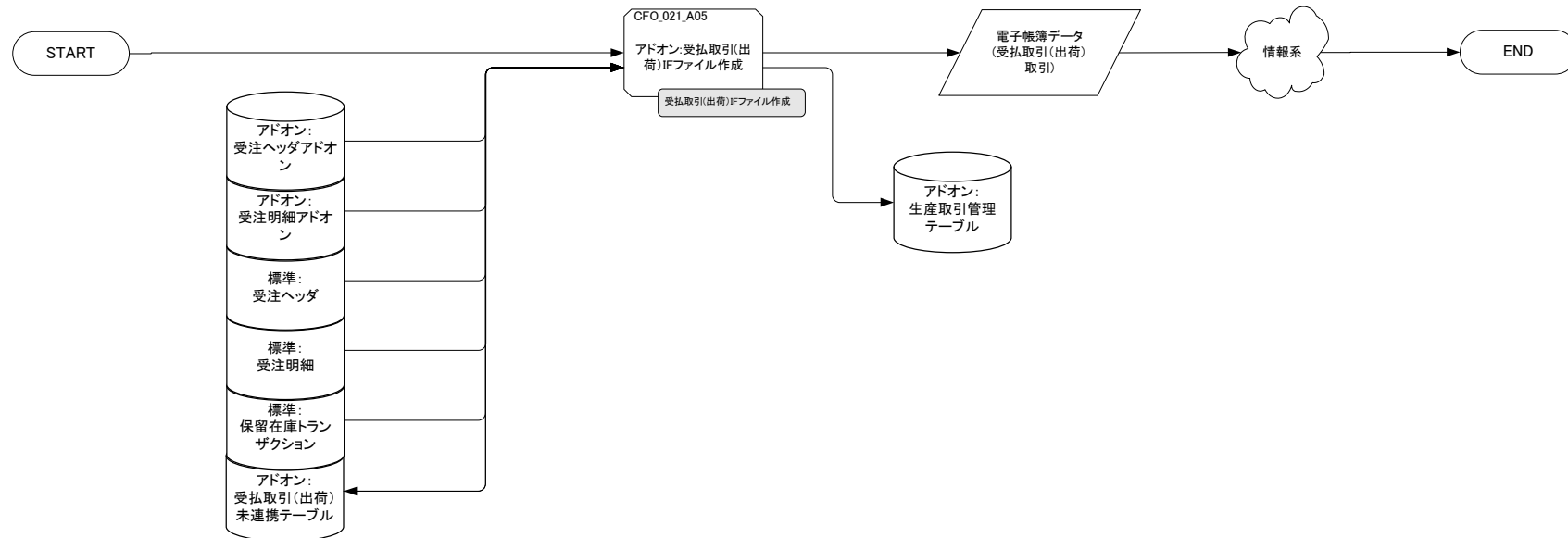
システム管理者

処理タイミング、その他

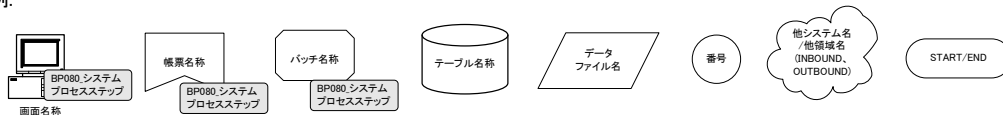
日次夜間バッチ

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



処理概要

電子帳簿保存法対応のため、EBS生産の発注/受入データよりAP仕入請求データを作成し、APへ連携する。

システム利用者

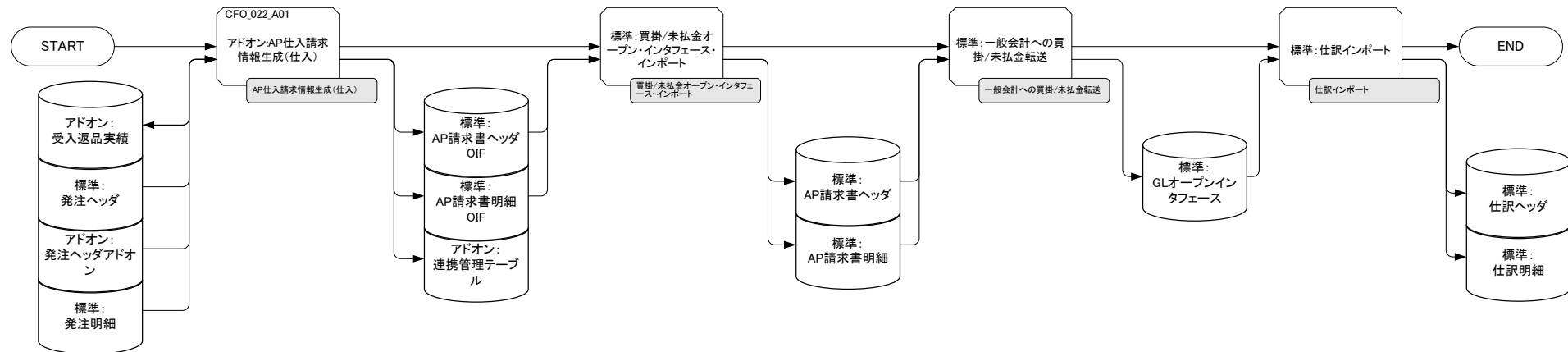
相良経理課

処理タイミング、その他

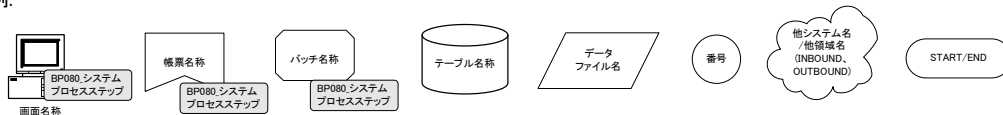
手動
在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_CFO_017 電子帳簿保存法関連	説明: 電子帳簿保存法対応のため、EBS生産の有償支給データよりAP仕入請求データを作成し、APへ連携する。	作成日	2015/03/20	作成者	SCSK内田	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-----------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

電子帳簿保存法対応のため、EBS生産の有償支給データよりAP仕入請求データを作成し、APへ連携する。

システム利用者

相良経理課

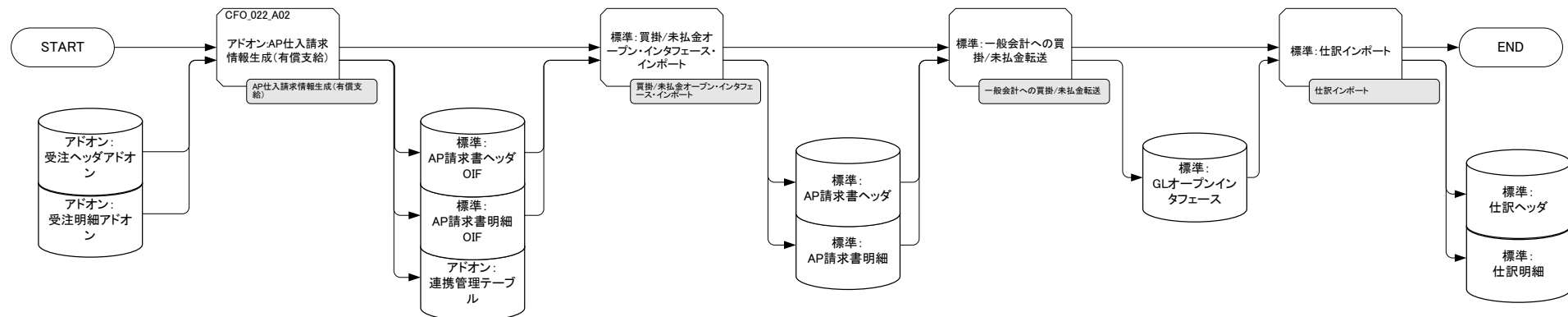
処理タイミング,その他

手動

在庫会計期間クローズ後、会計期間クローズ前

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

